

平成25年度予算見積調書

課室名：住宅課
 担当名：企画担当
 内線：5571

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B34	子育て共助のまち普及モデル事業費			一般会計	土木費	住宅費	住宅総務費	子育て世代向け住宅支援事業費	
事業期間	平成25年度～平成25年度	根拠法令	なし	戦略項目		12	日本一の共助県づくり		
				分野施策		010101	子育て支援の充実		
<p>1 事業の概要</p> <p>埼玉県は、核家族世帯率が高く子育て世代が両親の援助を受けにくい状況がある。そのため、世帯単位ではなく地域全体で子育てに取り組んでいく必要がある。そこで、戸建て住宅団地というコミュニティーを単位とした子育てに係る共助の仕組みを普及するため、共助を促進するハード・ソフト両面の取組を行うモデル住宅団地を整備し、その効果等を検証する。この検証結果を民間の住宅事業者に示すことで、民間による子育て共助住宅の供給を促し、子育て世代を呼び込める魅力と活力ある埼玉県を実現する。</p> <p>(1) 子育て共助のまちモデル整備事業 734千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 子育て共助のまちモデル整備事業 734千円 入間下藤沢団地跡地について、子育て共助の取組を行うモデル住宅団地を整備する住宅事業者を公募・選定した上で売却する。モデル住宅団地には、団地全体で子育てしていくため各世帯が共同で所有する共用施設を設置したり、それらを活用して住民同士が共助のためのソフト事業等に取り組む仕組みを導入する。 また、団地内に高齢者世帯用の住まいも組み込むことで、高齢者の子育て経験や、子育て世代による高齢者見守りなど、子育て以外においても世代間で支え合う仕組みを併せて検証する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 平成25年度…事業用地調査、モデル事業者募集要項作成、事業者の公募、選定 なお、公募・選定にあたっては、次の条件(案)を付すとともに、住宅事業者の創意工夫も評価対象とする。 (ア) 子育て応援分譲住宅認定制度における認定基準以上のハード要件を満たす住宅で構成するもの。 (イ) カーシェアリングの実施、多目的ラウンジ棟など子育てに便利な共用施設の設置及び当該施設における共助促進のための民間企業CSR活用講座開催や住民が講師となった子ども勉強会などのソフト事業を実施すること。 (ウ) 住宅団地内には若干数の高齢者世帯を組み込み、子育て・高齢両世代が支え合える仕組みを導入すること。 ※平成26年度…事業者との基本協定・土地売買契約締結、開発許可・建築確認、販売開始・着工・竣工・入居</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>県が子育て視点の共助の住まいづくりを住宅事業者に提示・普及することで、民間主導による子育てしやすい住環境整備を促すことができる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況</p> <p>事業は、公募により住宅事業者の創意工夫を引き出すとともに、整備自体は県費を使わず民間資金で実施する。</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>なし</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×0.2人=1,900千円</p>									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との対比
決定額	734							734	734
前年額	0							0	